

# 実質公債費比率19.7%について

## 豊岡市の財政は大丈夫？

市では、実質公債費比率が国の定める基準の18%を超えることとなりました。しかし、すでに市は今後の財政状況を見通して行政改革を着実に進めており、また、今回実質公債費比率が高くなった要因を織り込んだ上で、今後10年間財政が成り立つていくように財政計画を策定しています。

《問合せ》財政課

### 実質公債費比率とは？

平成19年度の実質公債費比率は19.7%と、国の基準の18%を超え、過日マスコミでも大きく取り上げられました。実質公債費比率は、借金の元利償還額(公債費)がその財政規模に対して占める割合のことをいいます。

その意味は何でしょうか？市が借金(起債発行)する場合、以前は県の許可が必要でしたが、制度が変わり、原則として市が自由に借金をすることができるようになりました。その反面、銀行や投資家など、融資する方々に市の借金返済能力を示すことが必要になり、その指標として、実

質公債費比率という新たな指標が導入されました。そして、この比率が18%を超えると、借金返済能力が小さくなったとして、以前と同様起債の発行に県の許可が必要となる、というものです。

今回、市の比率が上がった要因は、合併前に行われた借金の元利償還額が増えてきたこと、従来は元利償還金として扱われていなかった豊岡病院組合や下水道部門への赤字補てん等が、実質的には借金返済と同じであるとみなされるように取扱いが変わったことの2つです。

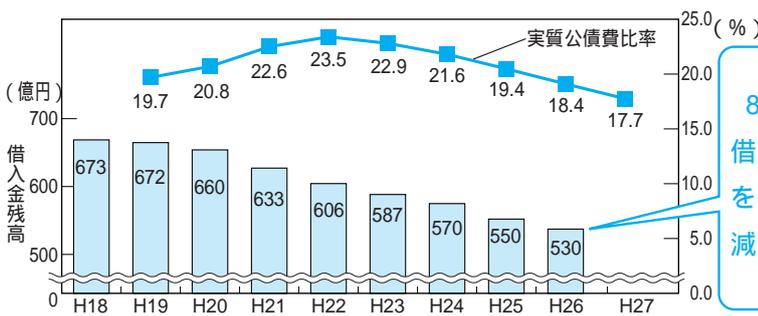


### 市の財政は危ないの？

改めての心配には及びません。すでに市は今後の財政状況を見通して行政改革を着実に進めており、また、今回実質公債費比率が高くなった要因を織り込んだ上で、今後10年間財政が成り立つていくように財政計画を策定しています。

したがって、今後とも着実に行政改革を進め、財政計画に沿った財政運営を行うことによつて、財政破たんといった事態は防ぐことができます。しかし、比率が国の定める基準の18%を超える結果となったことで、この比率を18%未満に抑えることを国から求められています。そこで、今後8年をかけて18%未満になるよう「公債費負担適正化計画」を策定し、取り組むことにしました。計画の柱は、借金残高を減らすこと、病院や下水道の赤

実質公債費比率と借入金残高の推移の見込み



8年間で借入金残高を143億円減らします

字を減らすこと、の2つです。については、借入金返済のための基金を利用して繰上げ償還をしたり、新たな借金をできるだけ控えることによつて、現在約673億円ある借入金残高を8年間で約143億円削減し、約530億円に減らすこととしています。ただし、この削減計画は、も

### 道路や学校などの整備はどうなるの？

ともと財政計画で見込んでいたものと大きな違いはありません。また、については、豊岡病院組合や下水道部門の借入金や赤字が増加することのないよう、協議・調整していきます。

現在の計画に特に変更はありません。

財政計画には、市民生活に必要な道路や学校整備などの社会基盤整備を盛り込んでいます。今回策定した公債費負担適正化計画でもほぼ同様に見込んでいます。したがって、実質公債費比率は上昇しましたが、今後のまちづくりには大きく影響を及ぼすものではありません。

今後とも、持続可能な財政運営に努めていきます。

市ホームページに「公債費負担適正化計画」を掲載しています。また、計画の概要や目的などの説明として「Q&A」も掲載していますので、ご覧ください。

# 広域ごみ・汚泥処理施設候補地は「選定委員会方式」で選定します

## 「選定委員会委員の募集」

広域ごみ・汚泥処理施設候補地の選定方式は「選定委員会方式」で選定します

豊岡市・香美町・新温泉町および北但行政事務組合が進めている「広域ごみ・汚泥処理施設候補地」の選定方式については、8月31日に開催した同組合議員協議会で「直接決定方式」「選定委員会方式」「公募方式」の3方式について説明し、議員から意見や質問を受けました。

その後、同組合は出された意見等を参考に検討を行い、組合構成市町と協議を行いました。総合的に判断した結果、同組合は9月28日に開催された組合臨時議会で「選定委員会方式」について説明し、関係予算が議決されました。

今後は、学識経験者や市町民等で組織する選定委員会で、収集運搬効率を基に定め

た範囲の中から、施設候補地を選定する作業を進めていきます。

広域ごみ・汚泥処理施設候補地選定委員会の委員を募集します

北但行政事務組合では、新たな広域ごみ・汚泥処理施設候補地の選定について、住民参加による施設候補地選定委員会を設置します。

つきましては、住民の皆さんから本委員会の委員を募集しますので、応募ください。

応募人員 3人以内  
応募資格 次のすべてに該当する方

- ・豊岡市、香美町または新温泉町に在住する方
- ・平成19年10月1日現在で満20歳以上の方
- ・ごみや環境に関心のある方
- ・平日の昼間に開催する委員会(6回程度)に出席できる方

活動内容 委員会に出席し、候補地の評価や選定基準の作成、候補地の調査、候補地の評価や選定等に関して検討し、意見を述べていただきます。(なお、委員は委員会得知り得た情報の内個人の利益を害するものは他人に漏らしてはならないこととなります)

任期 委嘱の日から検討が終了したときまで

報酬等 1回の委員会出席につき4,400円を支給します。(3時間を超える場合は、7,600円)

応募方法 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、作文( )を添付し、北但行政事務組合に持参または郵送、ファックス、メールで応募してください。

作文は「地域に受け入れられる、広域ごみ汚泥処理施設建設のありかた」をテーマに、800字程度とし

す。なお、様式は自由です。  
募集期限 10月26日(金)午後5時(当日消印有効)  
選考結果 選考会議により審査、選考を行い、10月31日(水)までに決定し、その後、結果を通知します。  
問合せ 北但行政事務組合 施設整備課(〒6680033 豊岡市中央町11-22)  
033-66504  
FAX 24-6650  
24-5504  
メール アドレス hokutan@geaocn.ne.jp

## 北但地域環境フォーラムを開催します

豊岡市・香美町・新温泉町および北但行政事務組合では、7月に引き続き「北但地域環境フォーラム～みんなで考えよう、ごみのこと～」を開催します。皆さん、ぜひ、参加いただき一緒にごみのことについて考えましょう。

日時 10月28日(日)午後2時30分～  
「清潔で明るい町づくり推進大会」に引き続いて開催します。

場所 豊岡市民プラザ( JR豊岡駅前アイティ7階 )

内容 第1部 事業説明  
テーマ「広域ごみ・汚泥処理施設整備事業の概要について」  
説明者：中貝市長(北但行政事務組合管理者)  
第2部 パネルディスカッション  
テーマ「今なぜ、ごみの減量・資源化が求められるのか」  
コーディネーター：大阪工業大学准教授 福岡雅子さん  
パネリスト：豊岡市女性連絡協議会理事 安井照代さん、株式会社トヨタ サービス部長 西村秀樹さん、中貝市長、豊岡市環境センター所長

入場料 無料  
駐車場 アイティ駐車場または駅前駐車場を利用ください。  
《問合せ》生活環境課または北但行政事務組合 ☎24-5504